



特定非営利活動法人サードプレイス

子どもたちにはサードプレイスを

おとなたちには、子どもたちと出会える場を。

事業報告書

3rd
PLACE

第8期

2023.7.1～2024.6.30

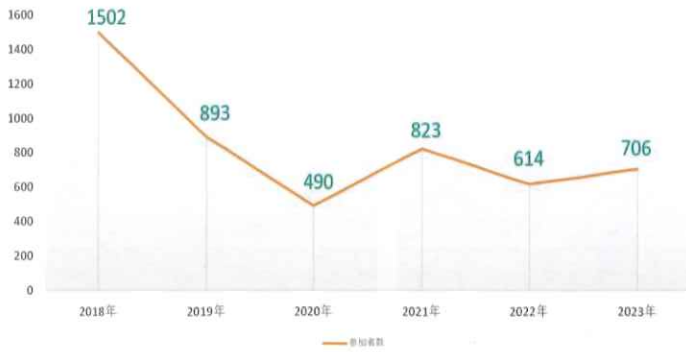
特定非営利活動法人サードプレイス

地区センカフェ

サードプレイス：こどもたちの居場所



地区センカフェ:参加者推移



私たちの考える こどもたちの居場所

今を生きる子どもたちにとって

自分らしく居られる場

その子たちの未来にとって

帰ってこられる場

子どもが、頼れる大人に

出会える場

◆ サードプレイスの役割

地区センカフェ



地区センカフェ～こどもたちの居場所づくり実践～

「行けば誰がいる」という子どもたちにとっての待ち合わせ場所であり、頼れる大人に出会える場づくりを実施しています。

- ・ オープンスペース
46回開催 延べ706人参加(内子ども632人・大人74人)
毎週火曜日 15:00～17:00

- ・ 夜の部：学習支援
5回開催 延べ8人参加 学習ボランティア 延べ4人

場所：横浜市寺尾地区センター

※鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金を受け実施

特に周知宣伝はしていませんが徐々に開催毎の参加者数が増えてきています。

毎年、「常連」となる子どもたちが一定数いて、その子たちを中心に居場所の空気がつくられて行く様子が面白いです。

6年前から居場所に遊びに来てくれていた小学生だった子が、中学校を卒業し、昨春から高校生となり、居場所のボランティアスタッフとして帰って来てくれました。

つみれ自習室～中・高校生のための居場所～

放課後の高校生の居場所として実施しています。勉強の目的だけでなく、大学生スタッフに進路相談や大学生活について尋ねたり、就活や推し活などの話をしたりと、参加者それぞれが目的をもって参加しています。

身近にロールモデルがいることで、進学や将来のイメージづくりに役立っています。

日 時：木曜日 16:00～19:00

場 所：地域活動交流拠点230cafe(つみれカフェ)

開催回数：47回

参加者数：中高校生 延べ591人 スタッフ272人

2021年6月～ 学習支援スタッフを配置

※令和6年4月から

令和6年度独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施。



横浜市鶴見区鶴見中央4-7-15-201
230cafe(つみれカフェ)

- 出入り自由&持ち込み自由のオープンスペース♪
- 参加費無料・コンセント・フリーWi-Fi使えるよ!
- 大学生の学習サポートあります



主催：NPO法人 サードプレイス
共催：NPO法人 ABCキャン
お問い合わせ：インスタDM または
tsumire@tsumire-jr.com

令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

わたしたちの居場所づくり

鶴見区内で子どもたちの居場所づくりを始めて、7年が経過しました。小学校に入学した1年生が6年間の小学校生活を終え、次のステージへと成長する1つのサイクルの年数です。

居場所に遊びに来てくれていた小学生だった子が、中学校を卒業し、高校生となり、居場所のボランティアスタッフとして帰って来てくれました。

「自分がここに来て楽しかったから、今遊びに来ている子たちと一緒に楽しみたい。」自分の経験を次の世代にもつなぎたい。『場が在り続けること』で帰ってこられる場所が残っている。時間軸を意識した居場所づくりをおこなってきたことが、一つの成果・意義として結実した形となりました。

『こどもたちの居場所』は、大人が過度に介入することなく、子どもたち自身が主体となって「自分たちの遊び場（居場所）」を作っていく。その手伝いをしていくというスタンスが大事です。

出会う子どもたちと話す中で、学校では大きな問題を出さない子は「普通の子」として見過ごされているのではと感じるようになりました。「相談」という形では出してこないものの、子ども自身からさまざまなことを話してくれます。

<家で親や、学校で先生には話をしないの？>と聞くと、「家や学校の大人たちはみんな忙しそうで、なかなか話せない」とのこと。<居場所の大人にはなぜ話せるの？>と聞いてみると、「ヒマそうだから」との子どもたちの言葉。

今、子どもたちの周りに「ヒマそうな大人」はどのくらいいるのでしょうか。子どもたちも身近な大人たちに対して気をつかいながら生活をしています。

もっと気軽に『頼れる大人』が地域の中に居たら、子どもたちがいろいろな人に話を聞いてもらえるのにと、身近に頼れる大人が少ないことが、社会課題の一つと感じています。



nippon.com 3rd PLACE

子どもが生まれない国ニッポンの子どもたち >

子どもに必要なのはヒマそうな大人と「居場所」で生まれるナナメの関係

社会 | 家族・家庭 | 経済・ビジネス 2023.12.05
後藤 絵里 [Profile]

<https://www.nippon.com/ja/japan-topics/c12702/>

Copyright 2018 NPO Thirdplace 18



nippon.comにサードプレースの取り組みを取材いただき、掲載いただきました。

公立中学校内での放課後学習支援

区内公立中学校から依頼を受けて、中学校の校舎内（図書室等）での放課後学習会を実施しています。

生徒一人ひとりに寄り添った個別対応により、学習の困り事のみならず生活面の相談にも対応しています。

日時：木曜日（月2回）主に16：00～17：00

場所：横浜市立寺尾中学校

開催回数：16回

参加者数：生徒 延べ49人

学習支援ボランティア/スタッフ 延べ62人

※寺尾中学校「てらお地域学校協働本部」の学びづくり部放課後等学び場事業として実施しています。

▼別の居場所事業で卒業生のフォローも続けています



◆鶴見区にお住いのひとり親世帯支援



鶴見区にお住いのひとり親世帯向け食料品配達

寄付で得られる食料品や購入して集めた食料品の配達を継続して実施しています。

配達の際に、食料品以外の困りごと聞き取り、アセスメントをおこなうことで生活上の困り事があることがわかります。継続相談が必要な家庭は、児童家庭支援センターにつなぎ、定期面談を行いながらフォローを続けています。

実施回数：12回 配達世帯：延べ104世帯 子どもの人数：183人 延べ利用人数：287人

※令和5年9月までは〈はまぎん〉ミライを創るアクションプログラムの支援を受けて実施しました。

※令和6年4月から令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施しています。



多くの食料品のご寄付をいただきました

ひとり親世帯の子どもたちの居場所

ひとり親世帯の不登校傾向のための子どもたちの居場所づくりを検討。ひとり親世帯向け食料品配達の利用者からのヒアリングや鶴見区内のひとり親世帯からのニーズ調査を実施。プレの居場所を実施しました。

プレ開催：3回
参加者数：4人

※令和6年4月から令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施

講演・啓発事業

・寄付の教室

日時：令和5年11月1日（水）13:30～15:10
場所：神奈川県立二俣川看護福祉高等学校
参加者：62名

・登壇実績

法政大学大学院ゲストスピーカー
日時：令和5年10月17日（火）6限・7限
場所：法政大学大学院

・11月「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」啓発活動

地元企業に協力いただき、鶴見大学の学生が制作した啓発ポスターを掲示



◆児童家庭支援センターつるみらい

児童家庭支援センター
つるみらい

〒243-0292 横浜市鶴見区鶴見中央4-7-15-403
 京急鶴見駅から徒歩3分
 JR鶴見駅東口から徒歩5分

☎ 045-503-3633
 FAX 045-633-7583

3rd PLACE
 こどもおちおちサポートプレイス
 横浜市鶴見区に、こどもおちおち館もある。

運営法人：特定非営利活動法人ワードプレイス

「児童家庭支援センター」は児童福祉法に基づき設置された児童福祉施設で、相談支援員や心理士、児童福祉士など専門の職員が、子育てやご家庭に関するさまざまな相談をお受けしています。

当センターは、横浜市鶴見区にお住まいの方が利用できます。

必要に応じて、鶴見区役所や児童相談所など関連する機関と協力しながら、ご相談内容について一緒に考え、解決に向けたお手伝いもします。

緊急時に被害した児童相談員を自衛して、地域の方と交流しながら子ども家庭支援をおこなっています。

お気軽にご相談ください。



児童家庭支援センターは、児童福祉法に基づき設置された児童福祉施設。地域の子育て家庭の皆さんからの相談に対して、専門的な支援や援助をおこなっています。

横浜市鶴見区にお住まいの方が利用し、スタッフは、社会福祉士、臨床心理士、保育士など雇用し運営しています。

※令和6年4月1日に「児童家庭支援センターつるみらい」に名称を変更

相談対応件数：延べ 4,065件 （前年度実績4,274件）

子育て短期支援事業（一時預かり支援）件数：269件 延べ308日 （昨年実績：299件 延べ354日）



◆230cafe（つみれカフェ）

拠点運営やカフェ営業などを「つみれプロジェクト実行委員会」の協力により実施。

飲食のカフェ営業の中止し、自主事業および貸しスペースを中心に拠点の運営方法を変更しました。



◆寄り添い型生活支援事業 つるみ元気塾

学校の放課後に通所する場を開設し、生活習慣等を身に付ける機会を提供しながら、必要に応じて保護者の方への支援を行っています。利用する子どもたちが自立した生活や未来を描けるよう、「体験」や「学び」に力をいれています。

※寄り添い型生活支援事業 車両送迎に係る実施要項に基づき、子どもたちの利用にあたり車両での送迎を実施しています。

登録人数：9名
開所日数：240日
利用人数：延べ246名



4月 開設準備	10月 ハロウィン週間、避難訓練
5月	11月
6月 緑のカーテン、野菜の種まき	12月 クリスマスパティー
7月	1月 初詣、おせち作り
8月 森永工場見学	2月 バレンタイン週間、宿泊体験
9月 お月見週間	3月 卒業、進学を祝う会



◆つみれまちなかりビング

地域のご高齢者の外出の機会づくり、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業サービスB通所型）を実施。横浜市通所支援：リハビリ体操、ピラティス、映像を観ながら懐古談などのプログラムを実施しています。

日 時：木曜日 10：00～13：30
場 所：地域活動交流拠点230cafe
開催回数：44回
参加者数：244人（内要支援者数：30人）



要支援の方や65歳以上の方にぜひご参加ください!!

つみれまちなかりビング

参加費 500円
（おやつ代）

いつでもほめられた場所で暮らし続けるために、介護が必要になることをできるだけ予防しましょう!!
月1回～、通所プログラムの参加だけでも可能です。
※お申し込みは必ず、このチラシを必ずお持ちください。
※お申し込みは必ず、お電話でお申し込みください。

ご利用に必ずお読みください!!
※お申し込みは必ず、お電話でお申し込みください。新しいコミュニケーションの場へようこそ。
※お申し込みは必ず、お電話でお申し込みください。お申し込みは必ず、お電話でお申し込みください。

【履きづくりと出先の場】
履きづくりは立ち寄り、足元を守るための履きづくりです。お通所日曜日に履きづくりとストレッチなどのプログラムを併せて実施します!!
また、お通所日曜日に多くご利用しているため、様々な世代の人数と交差できます。

【美味しいランチ】
お通所で美味しく健康的なランチが、皆さんとお話し食べられます!!

【アクセス】
230cafe 地域活動交流拠点230cafe
（伊豆山駅）徒歩 徒歩5分

ご利用に必ずお読みください!!
※お申し込みは必ず、お電話でお申し込みください。新しいコミュニケーションの場へようこそ。
※お申し込みは必ず、お電話でお申し込みください。お申し込みは必ず、お電話でお申し込みください。

【お問い合わせ・申し込み】
特別支援型居場所づくりサードプレイス
☎ 080-9535-1594
https://www.n-230cafe.com/

サードプレイスは

『鶴見区内の子どもたちに「頼れる大人」が身近にいる地域をつくる』ことを目指し、『子どもたちにはサードプレイスをつくり、大人たちには子どもたちと出会える場をつくる。』取り組みをしています。

子どもたちの居場所を鶴見区内につくる取り組みを2017年に始め、地区センカフェがスタートしました。2020年から児童家庭支援センターの認可を受け鶴見区内のこども家庭支援の一端を担うようになり、続けて鶴見区寄り添い型生活支援事業を受託し、サポートが必要な子どもたちに「体験」と「学び」の機会を作り、将来の自立に備える取り組みを実施しています。コロナ禍以降、社会的養育の領域での事業運営が中心になっています。

改めて、NPOとして受託の事業だけではなく、この地域には何が必要なのかをリサーチし、「無いものを作っていく」という取り組みの原点に立ち返り、ひとり親支援事業をスタートさせました。様々な取り組みのトライ＆エラーを重ね、しっかりと地力をつけながら鶴見区の子どもたちの支えができるよう、地域の方から頼られる存在になれることを目指しています。

代表理事 須田洋平

□ ビジョン

すべての子どもたちに
「頼れる大人」が身近にいる
地域をつくる

□ ミッション

子どもたちにはサードプレイスをつくり
大人たちには、子どもたちと出会える場をつくる。

▶ 名 称 特定非営利活動法人サードプレイス

▶ 目 的 この法人は、地域で暮らす子どもたちや大人に対して、子どものサードプレイス（居場所）づくりや「生き抜く力」を身につけるための体感・体験・学習に関する事業を行い、子どもたちの未来が明るくなり、豊かで充実した地域づくりに寄与することを目的とする。

▶ 事業内容 (1)子どもの発達における総合支援事業
(2)地域資源の調査・研究・開発事業
(3)その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

▶ 役 員 須田洋平（代表理事）・福徳未来（副代表理事）・安富祖美智江・兼子潤子・淵元初姫・小峰智美
阿部優香・小室乃瑛 監事：山路清貴

▶ 法人設立 平成29年2月28日

活動計算書

2023年7月1日から2024年6月30日まで

科目	金額	
I 経常収益		
受取会費		86,000
受取寄附金		585,592
受取助成金等		50,999,031
事業収益		
子どもの発達における総合支援事業	196,886	
拠点運営事業収入	3,398,714	
利用者負担金収入	170,550	3,766,150
その他収益		422,299
経常収益計		55,859,072
II 経常費用		
事業費		
人件費		36,384,259
その他経費		15,584,726
管理費		
人件費		493,802
その他経費		882,716
経常費用計		53,345,503
経常外費用計		
法人税、住民税及び事業税		118,400
当期正味財産増減額		2,395,169
前期繰越正味財産額		13,729,071
次期繰越正味財産額		16,124,240

貸借対照表

2024年6月30日現在

(単位:円)

科目	金額	
資産の部		
流動資産	29,670,193	
固定資産	2,652,873	
資産合計		32,323,066
負債の部		
流動負債	8,798,826	
固定負債	7,400,000	
負債合計		16,198,826
正味財産の部		
前期繰越正味財産	13,729,071	
当期正味財産増減額	2,395,169	
正味財産合計		16,124,240
負債及び正味財産合計		32,323,066

・傾きが「寄り悪い」をイメージ
・「寄りかかってもいいんだよ」というメッセージ

・前を向く、笑顔の子ども
・耳を傾けてくれる大人
「3」が耳っぼい

場があることで
支えられる、
笑顔になれる



・ホップ・ステップ・ジャンプみたいな
・元気さ、多様な人、つながり

つながります
(場と人、人と人、取り組み)

毎月500円～の継続寄付

サードプレイス応援団 マンスリーサポーター募集

毎月500円からのサードプレイスの活動を継続してご支援いただく「サードプレイス応援団」のメンバー(継続ご寄付者)を募集しています。

サードプレイス応援団

ひとりぼっちの子がいない鶴見区にしたい！
あなたの力を貸してください

サードプレイスでは、どんな背景の子でも集まれる「こどもたちの居場所の運営」、学習環境に恵まれない「中高生の学習支援」、育つ家庭で体験の格差が生まれぬよう「社会体験や地域参加の支援」、ひとりでがんばる親たちを支える「鶴見区ひとり親支援」。年間で約1,000人※の鶴見区の子どもたちと出会い、子どもたちや親を支えるさまざまな取り組みをおこなっています。

その取り組みを継続的、安定的に実施していくため、サードプレイス応援団になって私たちの活動を支えてください。

※サードプレイスが実施する取り組みの子どもたちの参加者を足した数



サードプレイス応援団
クレジットカードで登録できます



つるちゃんのスタンプ その1
<https://line.me/S/sticker/3435226>



つるちゃんのスタンプ その2
<https://line.me/S/sticker/3493571>



特定非営利活動法人サードプレイス

こどもたちにはサードプレイスを
おとなたちには、こどもたちと出会える場を。

ホームページ

<https://www.n-thirdplace.com/>



Facebook

<https://www.facebook.com/thirdplacetsurumi>



Instagram

<https://www.instagram.com/thirdplacetsurumi>



〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-7-15-201
TEL 080-9535-1594
Email thirdplace.tsurumi@gmail.com